

超省電力データ処理ハードウェアの 新潮流と将来像

産総研は超省電力なデータ処理のためのハードウェア開発を先導するIMPULSEプロジェクトを平成25年度から3年間で実施しました。本シンポジウムではプロジェクト成果を報告するとともに、大規模データ利活用のために求められる技術開発とビジネス化のロードマップを議論します。

※IMPULSE：高電力効率大規模データ処理イニシアティブ

日時 2016年 6月20日 月 13:00～17:30

場所 コクヨホール <http://www.kokuyo.co.jp/com/hall/access/>
東京都港区港南 1-8-35 / JR 品川駅港南口(東口)徒歩5分

主催 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 / 日本を元気にする産業技術会議

後援 日本経済新聞社

募集定員 300名 ※定員になり次第、締切ります。

参加費
無 料

13:00～13:05

開会の挨拶

産総研 理事長 中鉢 良治

13:05～13:25

「2030年の大規模データ処理に向けた産総研の取り組み」

産総研 副理事長 / IMPULSE プログラムディレクター 金山 敏彦

13:25～13:55

招待講演Ⅰ：「人工知能とIoTに求められるハードウェア」

株式会社 Preferred Infrastructure 取締役副社長 /
株式会社 Preferred Networks 取締役副社長 岡野原 大輔 氏

プ
ロ
グ
ラ
ム

13:55～15:05

成果報告Ⅰ：

フローセントリックコンピューティング（産総研 高野 了成）
超高集積・超広帯域光ネットワーク（産総研 並木 周）
三次元集積に向けたGeトランジスタ（産総研 遠藤 和彦）

（休 憩）

15:25～15:55

招待講演Ⅱ：「半導体ロードマップから見た技術潮流」

株式会社 EUVL 基盤開発センター 代表取締役社長 石内 秀美 氏

15:55～17:15

成果報告Ⅱ：

電圧制御スピンRAM（産総研 野崎 隆行）
超省電力トポロジカルRAM（産総研 富永 淳二）
強誘電抵抗変化RAM（産総研 澤 彰仁）
計算シミュレーションによるデバイス材料設計（産総研 浅井 美博）
自動微分を搭載したTCADとその応用（産総研 福田 浩一、池上 努）

17:15～17:30

2030年に向けた課題整理（産総研 安田 哲二）

※プログラム内容は都合により変更する場合がございます。

参加申込

右記URLからお申込下さい。 <https://www2.entryform.jp/aist-star/>

【お問い合わせ】 産業技術会議シンポジウム事務局 電話：03-6812-8685（平日 9:30～17:30） / Eメール：genki-sympo-ml@aist.go.jp